

地域経済動向調査 ～平成30年1-3月期（予測）～

(注)D Iは、「良い・上昇・増加等」と答えた企業の割合から「悪い・下降・減少等」と答えた企業の割合を引いた値。プラスだと景気の上向き傾向、マイナスだと景気の下向き傾向を示す。

D I 30以上…☀️ 10以上30未満…☀️☁️ ▲10以上10未満…☁️ ▲30以上▲10未満…☁️☔️ ▲30未満…☔️

地域の業況 ～今期の業況

今期の業況は、全業種合計したD Iが▲50.0となり、前年同期と比べて大幅に悪化している。

	製造業	建設業	小売業	サービス業	全業種合計
地域	▲44.4 	▲25.0 	▲71.4 	▲53.8 	▲50.0
(参考) 前回のD I	▲22.2	▲25.0	▲64.3	▲42.9	▲40.8

「建設業」は前回よりさらに悪化して▲44.4、「建設業」は前回と同じく▲25.0、「小売業」は悪かった前回よりさらに悪化が進み▲71.4、「サービス業」も悪化して▲53.8であった。

業種別の特徴 ～前年同月と比べた状況

前年同月と比べた状況を見ると、全体的に悪化している。特に「売上額」の悪化が目立ち、小売業の売上額D Iは▲85.7と非常に悪かった。サービス業は、売上額・採算・資金繰り・業況のいずれも▲30よりも低い。製造業は、「資金繰り」以外は▲30を下回っている。建設業は、4業種の中で最もマイナス幅が小さく、悪化度合いが比較的緩やかである。

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
売上額	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し
常採利益(算経)	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し
繰り資金	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し
(自)業況	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し

経営上の問題点

経営上の問題点をみると、全般的に需要が停滞している状況が見られる。

製造業は「生産設備の不足・老朽化」「需要の停滞」、建設業は「官公需用の停滞」、小売業は「需要の停滞」「販売単価の低下・上昇難」、サービス業は「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」が、問題点として多く挙げられた。

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位に挙げた問題点のトップ	生産設備の不足・老朽化	官公需用の停滞	需要の停滞	需要の停滞
1～3位に挙げた問題点合計のトップ	需要の停滞	官公需用の停滞	販売単価の低下・上昇難	利用者ニーズの変化

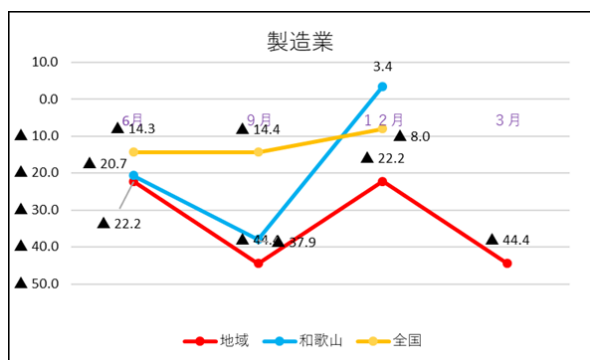
《トピックス》今年度の景気動向

■平成29年度の業況DIの変化

和歌山県・全国と比べた地域の業況DIは、いずれの業種も悪い水準で推移している。

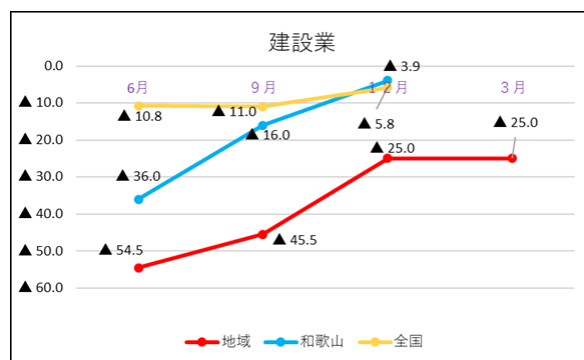
○製造業○

6月・9月期は和歌山県とほとんど変わらないが、12月期に和歌山県が大幅に回復したのに比べ、地域の回復幅は小さい。全国と比べると、6月・9月・12月期のいずれも地域の業況は悪い。



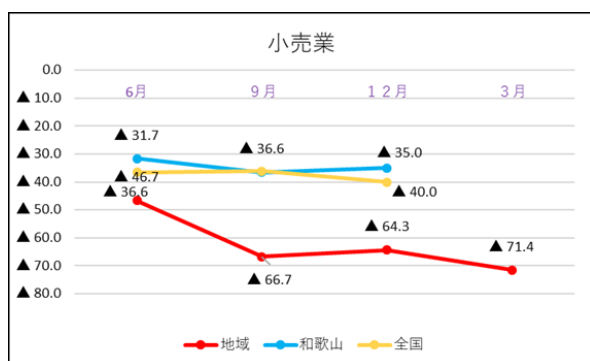
○建設業○

6月～12月期にかけて和歌山県と同様に改善傾向ではあるものの、和歌山県よりマイナス幅が大きく業況が悪い。全国では業況が足踏み状態であるが、地域と比べると業況は良い。



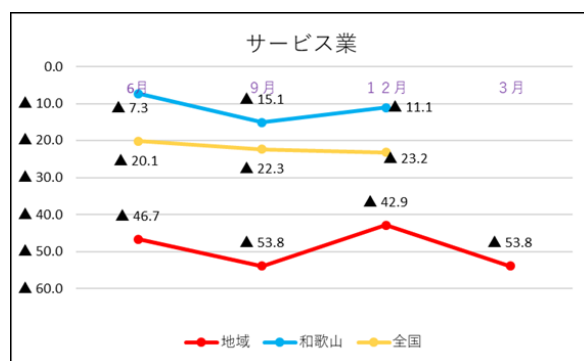
○小売業○

▲30より下の水準で推移しており、全国や和歌山県に比べて大幅に悪い。全国や和歌山県では、6月・9月・12月期のいずれも▲30～▲40となっており、全国的に業況は悪化している。



○サービス業○

全国は6月・9月・12月期のいずれも業況が悪く、▲20程度で推移した。和歌山県は、全国よりはマイナス幅が小さい。地域の業況は全国よりさらに悪く、▲50程度で推移している。



※全国と和歌山県の数値は全国商工会連合会「全国景況調査表」を参照。3月期は未発表。